

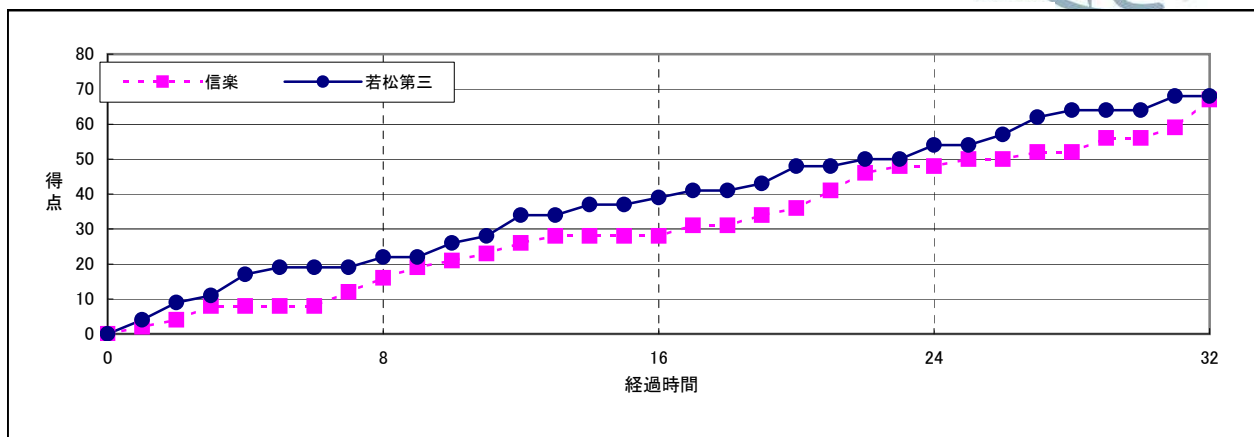
【game report】

No. 2 - HB - 2

平成20年度全国中学校体育大会
第38回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	2日目 男子 HBコート第2試合 決勝トーナメント1回戦		
日時	8月24日(日) 10:50 ~		
会場	東総合スポーツセンター		
結果	信楽	67	若松第三
	滋賀		福島
審判	主審 竹本 禎憲	副審 戸川 聡	



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

信楽							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	木澤義椰	×	14	2	4	0	4
5	杉本真太郎	×	28	6	4	2	1
6	杉本亮太郎						
7	上甲有真	×	2	0	1	0	2
8	木田一成	×	13	1	5	0	1
9	水谷泰淳						
10	古谷幸一						
11	森亮輔						
12	岩井俊	×	10	0	3	4	4
13	西田亘						
14	辻本隆助						
15	静本翔舞						
16	中久保拓哉						
17	平尾響						
18	雲林院昌人						
監	越後直樹						
C	山本隼年						
合計			67	9	17	6	12

若松第三							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	浅野恭平	×	31	2	11	3	2
5	加藤優	×	16	0	8	0	1
6	小澤海斗	×	8	0	4	0	1
7	金田尚樹	×	0	0	0	0	3
8	小澤岳斗	×	10	0	4	2	0
9	樋口直哉	/	3	1	0	0	0
10	小山創司						
11	則貞良磨						
12	板橋直						
13	安藤綾亮						
14	丸山将弥						
15	満田幸司						
16	山浦勇喜						
17	大竹高弘						
18	佐藤友貴						
監	川綱武						
C	渡部佳規						
合計			68	3	27	5	7

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー

1Q、信楽はハーフマンツーマンDef、若松第三はオールコート1-2-1-1ゾーンプレスからの1-3-1ゾーンDefでスタート。序盤、若松第三は激しくプレッシャーをかけてボールを奪い、#4のカットインで主導権を握る。若松第三ペースで試合が進み、残り2分30秒で信楽が11点ビハインドとなりタイムアウト。若松第三#4にフェイスガードを仕掛け、流れを変えようと試みる。信楽16-22若松第三で1Qが終了。

2Q、若松第三#4へのフェイスガードが続くが、他の4人がカットインからの合わせで着実に加点していく。信楽も#5のミドルシュートなどで応戦するが点差は縮まらず、28-37で前半が終了。

3Q、若松第三は、ハーフ1-3-1ゾーンのためのDefに変える。一進一退の攻防が続くが、3Q半ばのタイムアウトを境に信楽のOffのリズムが良くなり始める。#12のインサイドと#4、#5のアウトサイドとバランスの良いOffで点差を徐々に縮め、48-54で3Q終了。

4Q、信楽は1-3-1ゾーン、若松第三はハーフマンツーマンと互いにDefを変えて揺さぶりをかける。インサイドのプレッシャーを受け、若松第三のシュートが落ちはじめたのに対し、信楽は#4、#5の3Pなどで点差を詰め、残り5秒には#8の3Pで67-68の1点差に追いつく。信楽がすばらしい粘りを見せ、最後まで勝敗の行方のわからない迫熱したゲームとなったが、絶えず足を止めずにルーズボールを奪取した若松第三が1点差を守り切り勝利を収めた。

記録者：大貫 光憲